



自由クラブ
代表
尾崎広道

令和6年度予算大綱
について

問 空家住宅解体後の土地の固定資産税及び都市計画税等の負担軽減策はどのようなか。

答 1月2日以降に解体し翌年1月1日までに現況を畑等にすれば、翌年度は農地課税となり、市街化区域内農地の課税標準額は、固定資産税は固定資産評価額の3分の1、都市計画税は3分の2となる。

問 市内の幹線道路等の液状化対策は。

答 国道、臨港道路、市道ともに液状化対策はなされておらず、計画も策定していない。被災時は事業継続計画等に基づき道路啓開を行っていくこととなる。

問 ラーケーションの日について職業や介護などで親が休みを取得できない子供の対応は。

答 半日でも良いので親子の交流時間を設けてもらうよう学校から保護者に周知している。

問 疾病の早期発見・治療について気になる症状があっても専門医を受診しづらい人への動機付けは。

答 疾病の早期発見、早期治療には、自身の健康に意識し日頃からかかりつけ医を持つことが重要である。かかりつけ医がない方には、蒲郡市医療機関紹介カードや保健師の相談により医療機関を紹介しており、市民病院では1階の患者支援センターに看護師等を配置し、受診に関することを含め相談に応じている。



蒲郡市民病院



市政クラブ
代表
新実祥悟

令和6年度予算大綱
について

問 一般会計歳入歳出について伺う。

答 令和6年度一般会計予算額は425億9600万円、前年度に比べ55億2000万円の増加であり、過去最大の予算規模となっている。主な歳出は、塩津及び西浦地区個別計画に基づく複合施設建設事業費、クリーンセンター長寿命化工事費、文化広場大規模改修事業費などの普通建設事業費である。

問 市制施行70周年記念事業について伺う。

答 市制施行70周年記念事業全体の予算額は、約2億6500万円、28事業を予定している。主な事業は、プレミアム付商品券発行事業、キャッシュレスポイント還元事業、市制施行

70周年記念式典、大リーグ、千賀滉大投手の野球教室、蒲郡・幸田をオールロケ地としたショートフィルムの制作、名鉄記念列車の運行、帆船の寄港、市民会館前の堤防アートの作成、講演会などを計画している。記念講演会は、芥川賞作家、平野啓一郎氏と、直木賞作家、宮城谷昌光氏を予定している。

問 JR三河塩津駅及び三河大塚駅のバリアフリー化の状況を伺う。

答 JR東海と協議を進めるために施設の構造に関する資料等を収集し精査を進めている。その上で課題について整理していきたい。



市制施行70周年記念ロゴマーク



公明党市議団
代表
松本昌成

新最終処分場整備
について

問 これまでの取組状況と今後の予定を伺う。

答 整備地を一色不燃物最終処分場の隣接地とし、令和3年度に施設整備構想を策定し、11年度の供用開始を目指している。4年度に基本計画、5年度に基本設計を行った。6年度は、用地購入と基本設計に基づく実施設計や生活環境影響調査に着手する予定である。8年度から10年度予定の建設工事に向け事業を推進していく。

ゼロカーボンシティ
の推進について

問 太陽光発電設備だけでなく、蓄電池や省エネ設備、小中学校体育館への空調設備の導入の計画について伺う。

答 現地調査を行い、

必要電力量の算出や導入機器等の設計を行っている。今後、導入設備の内容や導入経費をまとめ、6年度中に小中学校への太陽光発電等の導入を目指したい。

教育の充実について

問 蒲郡中学校に不登校支援教室が設置された。現状について伺う。

答 不登校及びその傾向が見られる児童生徒が、教室復帰を目指し、安心して生活できる居場所づくりとして、不登校支援教室「ステツプルーム」を設置した。5年度4月から12月までに、延べ150名の利用があった。



一色不燃物最終処分場